

意見公募によって提出いただいた意見及び反映結果

施策案の名称	取手市国土強靱化地域計画（案）	
意見募集期間	令和3年2月3日 から 令和3年3月4日まで	
意見提出者数	2人（うち 人が匿名等）	
提出意見数	5件（うち 人が匿名等）	
意見項目数	5件（うち 人が匿名等）	
意見提出の内訳	直接窓口へ持参	1人 2件
	郵送	人 件
	ファクス	人 件（うち匿名等 人 件）
	電子メール	1人 3件（うち匿名等 人 件）
意見の反映結果	A 案に反映させたもの（反映・修正箇所がわかるものを添付）	件 （うち匿名等 〇件）
	B 意見の趣旨が既に案に盛り込まれているもの	件
	C 今後の取り組みにおいて参考にするもの	件
	D 案に反映できないもの	件
	E その他（感想・賛否のみなど）	5件
匿名等による意見提出者数	人	

※意見公募は政策等の賛否を問うものではありません。有用な意見を政策等に反映させるため、意見の内容に着目し、これを考慮した市（実施機関）の考え方を掲載しています

※類似の意見に対しては、まとめて市（実施機関）の考え方を掲載したものがある場合は、意見項目数と一致しません

※詳細は別紙のとおり

提出された意見と市の考え方

番号	該当ページ	意見	市（実施機関）の考え方	反映区分
1		<p>起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）の設定が甘く感じます。国土強靱化計画ならば、是れまでの災害の歴史、広域、激甚化する気象災害と巨大地震への備えを第一とすべきと存じます。（非常事態への備え）</p> <p>例えば</p> <ul style="list-style-type: none"> ○東日本大震災2011. 3. 11（貞観地震869年）繰り返している！ ○江戸の地震3回、1703元禄6年・1855安政2年・1923関東大震災（大正12年） ○東海、東南海、南海、首都直下の地震…歴史は繰り返す！ <p>江戸末期の安政地震…わずか1年の間にたて続けに起きています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1854. 11. 4安政東海地震M8. 4 関東～近畿 ・その翌日安政南海地震M8. 4 中部～九州 ・1855. 11. 11江戸直下地震M6. 9（荒川河口付近or我孫子の北が震源） 	<p>リスクシナリオは、国土強靱化基本法に基づき取手市の実情に合わせて設定したところです。災害の歴史及び非常事態への備えについてと合わせて、ご意見として承ります。</p>	E
2		<p>安全文化へのアプローチがありません。これは残念であります。</p> <p>○災害の歴史を学ぶ責任と伝える責任がある。</p> <p>○コレダケは絶対にヤルノダのPriorityと決意が見えてきません。</p>	<p>対応方策「防災知識の普及」において、防災学習・防災教育の実施について記載するとともに、施策の重点化において重点するリスクシナリオ及び重点業績指標を設定したところです。</p>	E
3	39	<p>安全安心課の皆さまいつもお世話になっております。常に取手市の防災・防犯にご尽力して下さって有難うございます。さて、取手市強靱化計画のパブコメを提出しますのでよろしく願いいたします。</p> <p>正直、取手市強靱化計画を策定する意味が今一つ見えて来ません。</p>	<p>重要業績指標に定めた防災ラジオ貸与決定件数の目標値は、これまでの貸与実績を基に設定したところです。今後も防災行政無線放送を受信できる防災ラジオの普及について周知してまいります。</p> <p>なお、防災行政無線の放送内容は、市ホームページ、メールマ</p>	E

		<p>その中での意見なので、的を得ていないかもしれませんが、送ります。</p> <p>○第5章計画の推進体制の中で、重要業績指標の中で気になったのが*</p> <p>*防災ラジオを貸与決定件数の目標値2,150台。高齢者が3万5000人以上いる取手市では目標値が低すぎるように思いますが、取手市が考える必要台数はどのくらいと考えていますか？防災ラジオが必要な世帯というのは、防災無線が聞こえない、SNSで情報を取ることができない世帯だと考えます。2,150台は、必要な世帯の何%になるのでしょうか。</p>	<p>ガジン、フリーダイヤルに速やかに掲載しておりますので、その周知を図ってまいります。</p>	
4	7 14~15	<p>*起きてはならない最悪の事態のリスクシナリオの1-2、異常気象などによる広域かつ長期的な市街地などの浸水の事前に備えるべき目標が、人命の保護とあります。要配慮者利用の施設の避難計画の策定は非常に必要なものだと思いますが、それだけではダメだと思います。利用している方は家にも帰宅すると思いますので、要配慮者を支援するネットワークも作って行く必要があると思います。(桜が丘自治会で実施しているような)</p>	<p>要配慮者支援については、対応方策「避難行動要支援者等への対応」に記載しております。要配慮者を支援するネットワークづくりの必要性については十分認識しております。今後計画を進めていく中で、ご意見として承ります。</p>	E
5		<p>○この計画の策定の背景の中に書かれていますが、平時から必要な事前防災及び減災を実施する一番の近道は地域コミュニティの構築だと考えます。取手市が一生懸命に取り組んでいる「地域支え合い体制」の充実だと思います。現在はまだ道半ばで、コロナ災害でほぼ止まった状態です。体制が構築できるまでは、人と予算にもっとかけるべきだと考えます。</p>	<p>地域コミュニティ組織の充実については、地域防災力を高めるための対応方策として掲載しております。</p> <p>「地域支え合い体制」の充実については、ご意見として承ります。</p>	E

※意見公募は政策等の賛否を問うものではありません。有用な意見を政策等に反映させるため、意見の内容に着目し、これを考慮した市（実施機関）の考え方を掲載しています

匿名等によって提出された意見

番号	意見
	なし